

多文化共生教育の推進をめざす大阪市民の会との協議等議事録（要旨）

教育委員会事務局

1 日 時 令和5年12月11日（月曜日） 午後6時00分～午後8時00分

2 場 所 大阪市役所 地下1階 第1共通会議室

3 団 体 名 多文化共生教育の推進をめざす大阪市民の会

4 協議等の趣旨 多文化共生教育の推進に関する要望

5 出席者

（団体側）代表 他16名

（本 市）教育委員会事務局 指導部 首席指導主事 他3名

6 議 事

(1) 「在日外国人教育基本方針」の具現化について <項目番号1>

（団体要望概要）

- ・国際クラブ（民族学級）未設置校や少数在籍校の課題について委員会としてどのような考えか。
- ・差別発言は重たく、人の心を傷つけ人間性も否定される。差別発言への対応についてどう考えているのか。
- ・多文化共生教育を推進するため、教職員の人的配置を行ってほしい。

（本市説明概要）

- ・特に国際クラブ（民族学級）未設置校や少数在籍校において、外国人教育、人権教育の重要性や民族行事の意義目的を理解している管理職や人権教育主担、外国人教育主担が少なくなってきたことは委員会としても認識している。校内で外国人教育主担、人権教育主担の職務の重要性がしっかりと示されるよう、今後もあらゆる機会を通じて管理職に働きかけをしていきたい。
- ・差別事象等発生後の速やかな対応についてはマニュアルの周知徹底が必要と考えている。加えて教職員の人権意識向上等についても、今後さらにさまざまな機会を通じて管理職に働きかけていく。
- ・渡日外国人増加の情報も入ってきている。可能な限りの人的配置に努めてまいりたい。また国に対しても要求を続けていきたい。

(2) 「国際クラブ」の制度的な保障について <項目番号2>

（団体要望概要）

- ・国際クラブ（民族学級）の取組と大阪市の進める多文化共生教育との関連、位置づけはどのようになっているのか。

（本市説明概要）

- ・渡日外国人の増加に伴い、この3年で国際クラブの設置校数も増えている。これまで取組が積み重ねられてきた国際クラブ（民族学級）と、その精神を引き継ぐ国際クラブの存在は、自己と他者を大切にできる子どもを育むものであると認識している。

(3) 国際クラブ指導者（民族講師）の身分保障について <項目番号3>

（団体要望概要）

- ・国際クラブ指導者（民族講師）は長年経験を積み、実績をもっている。国際クラブ指導者の身分の安定化、統合する新制度に向けて待遇・環境に関する今後の見通しはどうなっているのか。

(本市説明概要)

- ・外国につながる受入れ・共生のための教育推進事業と国際理解推進事業を一本化する際に、どのような工夫ができるのか、現在探っているところである。

(4) 多文化共生教育に関する課内実践の充実、推進のために <項目番号4>

(団体要望概要)

- ・「外国につながる、児童生徒の受入れ・共生のための教育推進事業」について今年度の成果と今後の課題を明らかにしてほしい。

(本市説明概要)

- ・学校の要望を基に打ち合わせを重ね、ニーズに合った多文化共生教育指導者を派遣して課程内実践や教職員研修を行っている。今後コーディネーターを活用しながら市内の小中学校を回り、『学力の基礎としての人権教育』の冊子を用いた実践が学校主導で取組まれるよう、この事業を浸透させてまいりたい。